

企画提案書

目的

お年寄りに優しいUIでバス利用のハードルを下げ、地域内ネットワークの活性化を行う。

背景

「[第1回地域内交通検討会開催報告\(R21121\).pdf](#)」にもあるように、三田市では近年高齢化による免許返納者の割合が増加しており、車を気軽に利用できない人が約4割存在する。そして、車を気軽に利用できない 65 歳以上の方の外出率はかなり下がる。

そこで代替的な移動手段としてバスが挙げられるが、バスの移動は

- バス停がわかりにくい
- 乗り換えが難しい

などの課題があり、バスの利用の難しさが外出のハードルを高くしている一因になっていると考えられる。

地域内ネットワークの活性化のために、外出のハードルを下げ、65歳以上の方にも外出を促すことが必要となる。

課題解決へのアプローチ

65歳以上の方へのハードルを下げ、外出を促す手段として以下のようなものが挙げられる。

- 地域内の主要なランドマークをわかりやすく表示する
よく利用される目的地となる場所をワンタップで選べるようにし、そこまでの経路を表示することで、お年寄りにとってわかりやすいアプリケーションを目指し、外出のハードルを下げる効果が期待できる
- 地域で開催しているイベントを知ってもらう
外出の目的となり得るイベントを知ってもらうことで外出を促すことができる
- バス乗り換え割情報を分かりやすく表示する
バス利用のハードルを下げる効果が期待できる

具体的な機能内容

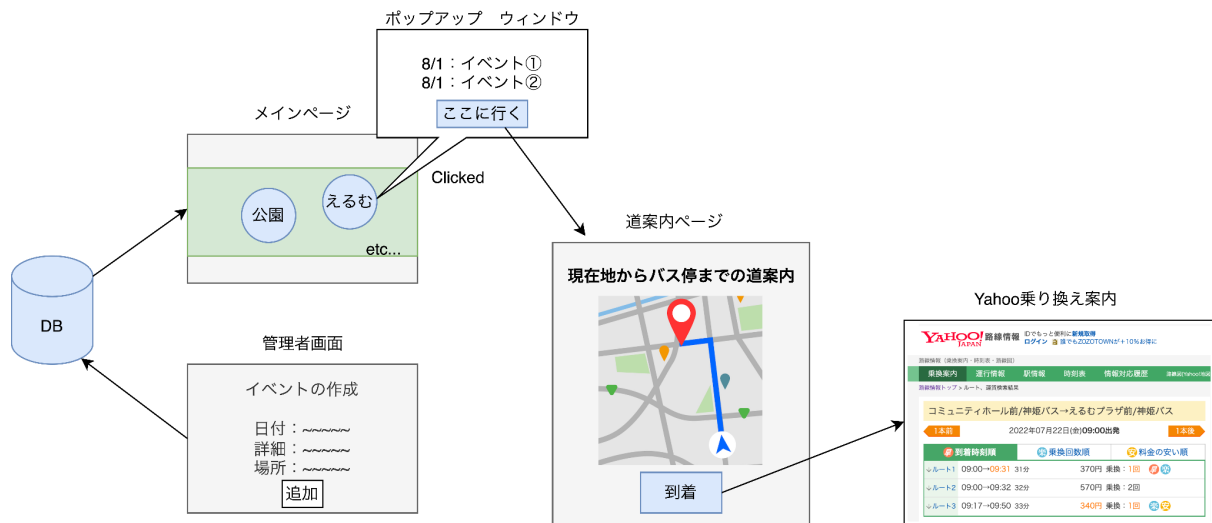


図1: システム概要図

1. 地域内の施設・イベントから目的地を選ぶ

地域内の主要なランドマーク(スーパー、病院、公園...)を、わかりやすく表示する。

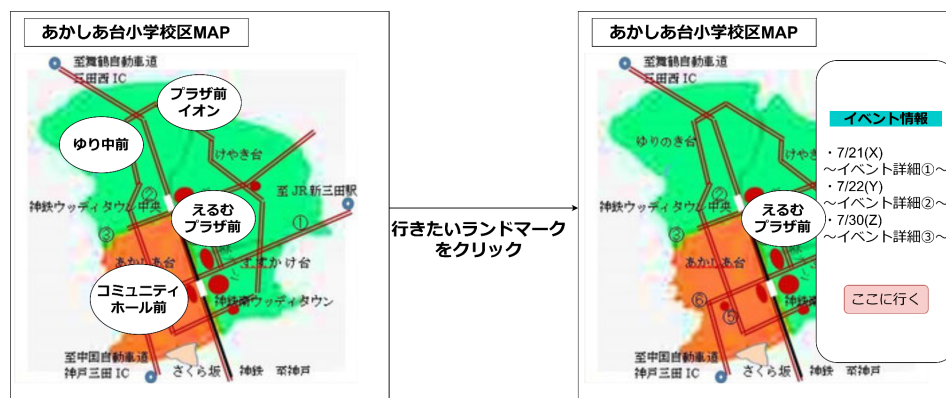


図2: メインページ例

[あかしあ台小学校地域内の行事カレンダー](#)にまとめられているような、各施設で行われているイベントをランドマークに紐付けて確認できるようにする。

これにより、地図を眺めることでこういった場所に行くことができるか、どんなイベントが開催されているかを確認できる。

イベント情報はシステムに適宜入力し、更新してゆく

イベント登録フォーム	
日付	<input type="text" value="〇月〇日"/>
場所	<input type="text" value="▼"/>
イベント詳細	<div></div>
<input type="button" value="登録する"/>	

図3: イベント登録フォーム

2. 現在地の最寄りのバス停までの道案内を行う

バス停がわかりづらい、場所が分かりづらいといった意見を考慮し、現在地からバス停までの経路案内を行う。またバス停の写真を掲載することで迷うことなくバス停にたどり着けるようにする。

3. 目的地近くのバス停までののりかえ案内を行う

バスの乗り換えについてはyahoo!乗り換え案内のwebサービスを利用する。現在地と目的地に基づき、システムがyahoo!乗り換え案内を用いて適切な検索を行う。そして、検索結果のwebページに移動する。ユーザーはyahoo!の複雑な検索をすることなく乗り換え情報を得ることができる。

このアプリの課題

- Yahoo!乗り換え案内を利用して目的地近くのバス停に到着したあと、そのバス停から目的地までの案内をするためにはYahoo!乗り換え案内のページから本アプリのページに戻ってきてもらわなければならない、その操作をお年寄りができるか不安
- 現在地から最寄りのバス停までの案内において、GPSがどれだけの精度で機能するのかわからない。場合によってはGPSによって混乱する可能性もある。